

# 美術 I

教科	芸術	単位数	2	学科・学年・コース	総合ビジネス科3年生（選択）
使用教科書	「高校美術 I」（光村図書）		副教材等	スケッチブック、絵の具、材料等	

## ◇ 学習の到達目標 ◇

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

## ◇ 科目の特色 ◇

平面・立体・デザイン等の表現と鑑賞に取り組みます。

## ◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習活動
4 5	1. 鉛筆デッサン	・美術における基本的な鉛筆の使い方を学び、デッサンに取り組む。
6 7	2. プロダクトデザイン	・イスの模型づくりを通し、デザインの機能性や必要性について学び理解を深める。
9 10	3. コラージュ 4. 鑑賞	・コラージュに用いる材料や表現の特性をいかし、絵画制作をおこなう。 ・完成後にクラスで作品を鑑賞し合う。
11 12	5. 篆刻	・篆刻石を用いて自由に篆刻印を制作する。 ・持ち手の彫刻をおこなう。
1 2	6. 映像メディア	・日本のサブカルチャーについて 鑑賞や模写を通して学習する。

## ◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

美術への 関心・意欲・態度	各課題に興味と目標を持って意欲的に取り組もうとする姿勢が見られるか。 準備・片付けがしっかりとでき、備品や道具を丁寧に使うことができるか。 集団におけるきまりを守り、授業を大切にできるか。
発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っているか。
創造的な技能	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表しているか。
鑑賞の能力	美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっているか。

このため具体的には、各課題の作品及び取り組みを対象とします。また1年間の評価は前期・後期の年間を通して、上記を総合的に判断して決めます。

## ◇ 担当者からのメッセージ ◇

絵を描いたり物を作ったりすることは人間本来の活動の一つだと思います。それぞれの課題に意欲的に取り組み、創造の喜びを感じてほしいと思います。生徒の皆さんが、生涯にわたり身の回りの物に美的に手を加えたり、美術館に足を運んだりするなど、美術を愛好し続けることを願って授業をしたいと考えています。